

第19期第7回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日時：2014年4月13日(日) 14:00-

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻第1会議室

議長：小田滋晃

出席者：(全体) 佐藤豊信、古塚秀夫、増田佳昭、小田滋晃、浦出俊和、堀田学、仙田徹志、桂明宏、藤本高志、矢倉研二郎、池上甲一、北野慎一、増田清敬、竹歳一紀、伊庭治彦、北川太一、金子治平

- 1) 佐藤会長より挨拶がなされた。
- 2) 前回議事録の確認

【議題および報告】

(1) 学会賞の選考について (古塚副会長)

古塚副会長より、学会賞の選考状況について説明がなされた。

(2) 会員異動等について (組織)

桂組織広報担当理事より、新規入会者及び退会者について報告がなされた。なお、増田副会長より、JA 京都中央会の賛助会員退会について説明がなされ、再度入会をお願いすることが報告された。

(3) 地域農林経済学会会員種別に関する規程細則の改正について (庶務)

浦出席務担当理事より、地域農林経済学会会員種別に関する規程細則の改正内容について説明がなされた。具体的には、シニア会員を65歳以上とし、年会費の減額をうけることが出来る、また本人からの申し出により所定の前払い会費を一括で支払うことが出来るよう規程細則を改定する案が提示され、了承された。なお、シニア会員資格を会員に伝える時期や方法については、今後中西印刷と相談の上決定することが報告された。

(4) 名誉会員の候補者について (庶務)

浦出席務担当理事より、名誉会員の候補者について説明がなされ、了承された。

(5) 学会誌編集状況について (編集)

金子編集担当理事より、学会誌の編集状況について報告がなされた。

(6) 個別報告論文投稿要領の改正について (編集)

金子編集担当理事より、個別報告論文投稿要領を以下の通り改正したい旨の提案がなされた。

- 1) 責任著者(コレスポンディング・オーサー)を明記する。
- 2) 審査を、「2名以上の審査員による審査」に変更する。

上記2)に関連して矢倉編集担当理事より、論文審査方法改正案(個別報告論文含)の具体的な内容とその考え方について説明がなされた上で、議論を行った。

(7) 編集業務の整理・見直しについて (編集)

金子編集担当理事より、以下の点について編集業務の整理・見直しを検討している旨の報告がなされた。

- 1) 編集補助業務の委託料の見直しを行う。
- 2) 事務局(編集補助)業務の可視化・明文化を行う。

3) 常任編集委員の負担軽減のため、当該委員増員を検討する。この件については、庶務担当で検討することとした。

(8) 投稿規程、編集委員会要項および関連規則類の改正について (編集)

増田編集担当理事より、上記(6)及び(7)に関連して、「編集委員会要項」「投稿規定」「投稿規程細則」の改正内容について説明がなされた。

(9) 2015年度学会大会の開催地について (会長)

佐藤会長より、2015年度大会を鳥取大学で開催したい旨の説明がなされ、了承された。

(10) 学会事務業務委託契約の見直しの検討について (増田副会長) 及び年会費および投稿料等の改定の検討について (会計)

増田副会長より、学会事務業務委託及びオンラインジャーナル化に向けた基礎資料(変更した場合の見積もり等)の提示がなされた。併せて、仙田会計担当理事より学会収支の現状、さらに堀田会計担当理事より会費及び投稿料の改訂に伴う学会収支改善のシミュレーション結果が提示された。以上の情報を踏まえて、学会事務業務委託契約の見直し、及びオンラインジャーナル化について議論を行った。本件については継続審議することとした。

(11) その他

1) 池上企画担当理事より、農業経済関連学会連絡会議の内容について報告がなされた。具体的な内容は以下の通り。

①同連絡会の編集委員会会議が開催される見通しであるとの報告がなされた。

②自然科学系機関における社会科学分野の業績評価について、同連絡会議より提示されている意見を本学会HPでも掲載してほしい旨の依頼がなされた。

③科研費の農業経済学分野の応募数が増え、それに応じて配分額が増額された旨の報告がなされた。

④細目の見直しが行われるため、それに対する対策を講じる必要性が報告された。

2) (10)に関連して、各担当代表者(実務者)の懇談会を6~7月をめどに開催することとした。同懇談会では、オンラインジャーナル化に関連して発生するメリット/デメリットの整理、委託契約に関連して委託契約書の見直しを各担当で行うこととした。

増田副会長挨拶より閉会の挨拶がなされた。